

♪ 2018年度 **poco a poco** ♪

Nr. 12 2018年10月4日(木) 文責: プファイル・辰巳

学校祭「結輝」

今年の学校祭のスローガンは「結輝(ゆうき)」だそうです。子どもたちのセンスのよさに、毎年感心します。「みんなで一致団結し、一人ひとりが輝く学校祭にしよう」という気持ちがこもっているそうです。その言葉どおり、舞台の上でみなさんの輝く笑顔、姿、歌声を見たり聞いたりするのを楽しみにしています。応援してますよ!



Vorschau (予告)

本日、11月1日(木)に予定しております秋の音楽鑑賞会についてのお知らせのプリントを配布しました。今年はみなさんと一緒にジャズ風にアレンジされた曲を聴きます。どうぞお楽しみに!

音楽こぼれ話 <作曲家のこの一曲⑩> レオナルド・バーンスタイン ミュージカル「ウエストサイド物語」>

レオナルド・バーンスタインは、アメリカ初の国際的指揮者として、オーストリアのヘルベルト・フォン・カラヤンやドイツのフルトヴェングラーなどと並んで、20世紀後半のクラシック音楽界をリードした巨匠のひとりでした。

バーンスタインはウクライナ系ユダヤ人移民の2世として、アメリカはマサチューセッツ州ローレンスに1918年に生まれました。今年がちょうど生誕100周年記念に当たります。理髪店を経営していた父の反対を押し切って、音楽の道を志したそうです。ピアノのほかに、指揮と作曲の勉強をしました。

1943年、25歳で初めて、大指揮者ブルーノ・ワルターの後任としてニューヨーク・フィルハーモニー交響楽団を指揮し、その素晴らしさで一大センセーションを引き起こしたといわれています。

その後各地で活躍を続け、ついに1958年からは、アメリカ人としては史上初めてニューヨーク・フィルの音楽監督に就任しました。バーンスタインとニューヨーク・フィルのコンビは大成功をおさめ、同楽団の黄金時代を築いたといわれています。

作曲活動により時間を取るために、バーンスタインは1969年にその常任指揮者のポストを辞任しました。その後はフリーで指揮者として活躍しつつも、作曲を続けました。

そのバーンスタインの代表作といえば、やはりミュージカル、そして映画化もされた「ウエストサイド物語」といえましょう。ブロードウェイ・ミュージカルとしての初演は1957年。1961年には映画化されました。

物語は、シェイクスピアの「ロミオとジュリエット」のアメリカ版とも言えますね。当時のニューヨークの社会的背景を盛り込み、ポーランド系とペルトルコ系の2つの青少年グループの抗争の中で、犠牲になるトニーとマリアという二人の若者の恋と死を描いた作品です。

「トゥナイト」や「アメリカ」、「I feel pretty (素敵なきもち)」や「Somewhere (どこかに)」などの名曲が盛り込まれたアメリカン・ミュージカルの傑作「ウエストサイド物語」。バーンスタイン生誕100周年にちなんで、今年は演奏される機会も多いのではないのでしょうか。

バーンスタインのお誕生日は1918年の8月25日。広島被爆40周年の平和コンサートや、ドイツのベルリンの壁崩壊直後のクリスマスコンサートなど、歴史的なコンサートの指揮者も務めました。1990年10月14日、肺がんのため72歳で亡くなる数か月前まで、現役指揮者として大活躍でした。

ちょっとだけ 演奏会情報

パルメンガルテン内「パパゲーノ劇場」の10月の演目より

「ジム・ボタン」(ミヒャエル・エンデ作)の物語
10月 5日(金)、6日(土)、14日(日)、
19日(金)、20日(土) いずれも16時開演

「シンデレラ」(ロッシーニのオペラより)
10月 7日(日)、11日(木)、12日(金)
13日(土)、21日(日) いずれも16時開演

Ticket-Hotline: 069 1340 400 www.PAPAGENO-THEATER.DE